

電動インパクトレンチ 18V

取扱説明書

【品番】 EIM-10

この度は、KIKAIYA「電動インパクトレンチ18V」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- * 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく安全にご使用ください。
- * 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(MAIL) info@kikaiya.com

■調査及び修理をご依頼の前に

* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

■開封時

開封したらすぐに中身/動作確認をしてください。

付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身をご確認ください

■仕様/各部名称

| | | |
|-----------|-------------------------|-----------|
| 商品名(品番) | 電動インパクトレンチ 18V (EIM-10) | |
| 電動機 | DC ブラシレスモーター | |
| バッテリー | リチウムイオンバッテリー(容量 4.0Ah) | |
| 電圧 | 直流 DC18V | |
| 差込角 | 1/2DR(12.7mm) | |
| 回転数(無負荷時) | 打撃モード(強) | 0~2600rpm |
| | 打撃オード(中) | 0~2000rpm |
| | 打撃モード(弱) | 0~1600rpm |
| 打撃数 | 打撃モード(強) | 0~3300ipm |
| | 打撃モード(中) | 0~2500ipm |
| | 打撃モード(弱) | 0~1800ipm |
| 締め付けトルク | 最大 350N.m | |

* 改良の為、予告なく主要機能及び形状などは変更する場合がありますのでご了承ください



| 番号 | 名称 |
|----|------------------|
| 1 | 1/2 インチ スクエアドライブ |
| 2 | 回転切替スイッチ (正転/逆転) |
| 3 | グリップ |
| 4 | フック |
| 5 | バッテリーロックボタン |
| 6 | 引金 (トリガー) |
| 7 | LED ライト |
| 8 | バッテリー |
| 9 | バッテリー残量表示 |
| 10 | 電子クラッチ切替ボタン |
| 11 | 充電器 |

1. 注意事項

【作業環境について】

- ✓ 作業場は整理整頓された、十分に明るい場所で作業してください。
(暗い場所や ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります)
- ✓ 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
(充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります)
- ✓ 作業に適した服装や保護具を着用してください。作業時は保護メガネを必ず着用してください。
(作業環境によっては、防塵用ゴーグルや防塵用マスクを着用し、長い髪はまとめる、帽子を着用する等し、袖口の開いた服装、ネクタイ、ネックレスなどは着用しないでください)
(手袋を使用する際は滑らない手袋を着用してください。回転部に巻き込まれると危険です)
- ✓ 第三者や子供には触らせないでください。

【電気・バッテリーについて】

- 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース(接地)付きプラグは確実にアース(接地)をしてください。
- 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース(接地)されているものに身体を接触させないようにしてください。(感電する恐れがあります)
- 充電工具は、雨ざらしにしたり、湿気、濡れた場所では使用しないでください。
(充電工具内部に水が入り、本機による感電やバッテリーがショートする恐れがあります)
- 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ✓ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください
 - ✓ 電源プラグを抜くために電源コードを引っ張らないでください
 - ✓ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。
- 使用環境に適した延長コードを使用してください。
- バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
(他のバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、液漏れの恐れがあります)
- 専用バッテリー以外は使用しないでください。
(工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります)
- バッテリーの端子部を金属などで取付けて使用しないでください。
(火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります)
- 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れする事があります。漏れた出た液体に不用意に触れないでください。
(万が一、バッテリーの液が目に入った場合は、直ぐにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けて下さい)
- バッテリー液は炎症や火傷の原因になる事があります。
バッテリーは、火への投入、加熱、釘をさしたり、衝撃を与えないでください。
(発火、破裂のおそれがあります)
- バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電、使用、保管しないでください。
(バッテリーを周囲温度が 50℃以上に上がる可能性がある場所に保管しないでください)
充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。(感電の恐れがあります)

【作業前、作業中、作業後について】

- 作業に合った工具を使用し、工具の能力と作業に合う速度、トルクを選んでください。
- 無負荷では連続使用(早回し)しないでください。(回転が上がり過ぎて故障の原因になります)
- 作業前に異常がないか必ず確認してください。
 - ✓ 本体のボルトの締付けが緩んでいたり、抜けていないか。
 - ✓ 各部品が外れていたり、傷んでいないか。
 - ✓ ソケットが割れたり減っていないか。
 - ✓ スイッチに異常がないか。
- ※上記症状がある場合、事故や破損の原因となります。
- その他、何らかの異常を感じる場合は作業を中断してください。
- 不意な始動は避けてください
(バッテリーを本機に挿しこむ前に、スイッチが切れている事を必ず確かめてください)
- 工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。
(電源を入れた時に、取付けたキーやレンチなどが回転して負傷するおそれがあります)
- 加工物はしっかりと固定された状態で作業してください。手で加工物を保持すると危険です。
- 回転部は絶対に人体に向けたり、手を近づけないでください。
- ボルト・ナットはソケットに確実に挿入し、対象物に入れてください。
- 作業終了後は、バッテリーを抜いて保管してください。
-
- 野外に放置したり直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。
- 作業後は、点検作業を実施し以上部位がないか確認してください。
 - ✓ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従っておこなってください。
 - ✓ 本機/充電器/バッテリーの分解、修理、改造はしないでください。
 - ✓ 本機が異常に熱くなったり、その他異常に気付いた時は販売店へご相談ください。
 - ✓ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

3.使用方法



- ・作業を行う前に、必ず引金（トリガー）がロックされている事を確認してください。
- ・回転切替えスイッチを中央位置に設定すると、引金（トリガー）をロックできます。
- ・ロックする事で電動工具を誤って始動しないようにします。

■スイッチ操作

⚠ 警告

本機にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れている事を必ず確認してください。
(スイッチを入れたままバッテリーを挿し込むと急に回りだし、事故の原因になります)

- スイッチは引金（トリガー）を引くと入り、離すと切れます。
- スイッチの引金の引き加減により、お望みの回転数及び打撃数が得られます。
- トリガーは可変速度で、速度はトリガーに加える圧力の量に依存します。
- トリガーに軽く圧力をかけると、追従速度が低下します。
- スイッチをさらに押すと、速度が向上します。



■LEDライトの点灯

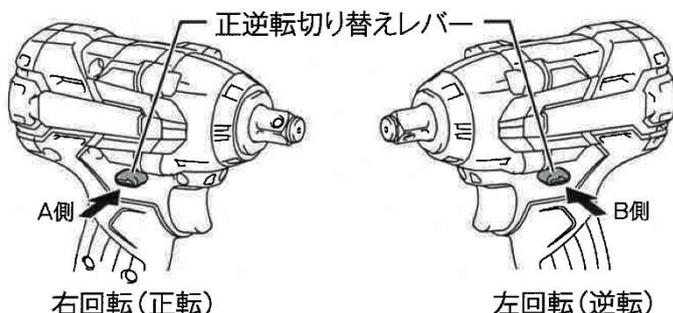
⚠ 警告

ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てたりしないでください。
(ライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります)

- 手元のLEDランプは作業領域を照らすため、悪い照明条件でも使用することができます。
- 引金(トリガー)を押すとLEDランプが点灯します

■正転/逆転切り替えレバーの操作

- 正逆転切り替えレバーのA側を押すと右回転（正転）し、B側を押すと左回転（逆転）します。
- 正逆転切り替えレバーを中間の位置にすると、引金（トリガー）が引けなくなります。



(注)

- ・ ご使用前には必ず回転方向を確認してください。
- ・ 正転/逆転の切替えは、モーターの回転が停止した状態でおこなってください。
- ・ 回転中に切り替えますと故障の原因になります。
- ・ 本機を使用しないときは、正逆転切り替えレバーを中間の位置にしておいてください。

▼正転（時計回り）

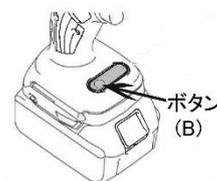
- モーターには、3つの異なる前進速度設定の電子クラッチがあります。
- 速度設定は本体の電子クラッチ切り替え（S）ボタンを押すことで調整できます。
- 引金（トリガー）が瞬間的に引かれると電子クラッチが作動します。
 - ✓ 1つの緑のLEDが点灯している場合 = モーターは速度1（弱）に設定されます。
 - ✓ 2つの緑のLEDが点灯している場合 = モーターは速度2（中）に設定されます。
 - ✓ 3つの緑のLEDが点灯している場合 = モーターは速度3（強）に設定されます。



※ 用途に合った速度設定で作業してください。

▼逆転（反時計回り）

- ・ 引金（トリガー）を引いている間、ツールは逆方向（反時計回り）に回転します。
- ・ 電子クラッチには、2つの異なるリバースモードがあります。
 - ✓ フルリバースモード = フル逆回転モード
 - ✓ オートブレークモード = 自動ブレーキモード



※自動ブレーキ機能は、電子クラッチ切り替え（B）ボタンを押すことで作動します。

※赤いLEDが点灯（1つのみ点灯します）中は、自動ブレーキが作動していることを示します。

※ボルトが緩んで抵抗がなくなると回転が自動で停止します。

※制御されていない回転はボルトスタッドの端にあるトレッドを損傷する可能性があります。

※オートブレークモードを解除するには（B）ボタンをもう一度押すだけで、赤いLEDが消灯し回転は再びフルリバースモードになります。

※両方のリバース機能は、3速位置の電子クラッチでのみ動作します。

■ボルトの締め付け

⚠ 警告

本機をしっかり保持しソケットをボルトやナットにしっかりと差し込んで締め付けてください。
(確実に保持しないとケガの原因になります)

- ボルトの適正締め付けトルクは、ボルトの材質・サイズ・締め付ける場所の材質などによって異なります。
- ボルトを過大な締め付けトルクで締めますと、ボルトが伸びたり、折損したりすることがあります。
- 適切な締め付けトルクになっているか、トルクレンチ等で必ず確認してください。
- ボルトに合ったサイズのソケットを使用しないと、締め付けトルクは低下します。
- 径の異なるボルトでもトルクは変化します
- 締め付け場所や本機の持ち方によっても締め付けトルクは変動します。
- スイッチの引金を引き込みきらない状態で使用しますと、締め付けトルクは低下します。

■バッテリーについて

▼バッテリー充電方法

1. 電源電圧が使用可能な電圧に対応しているかどうかを確認します。
2. バッテリーロックボタンを押さえて、本体よりバッテリーを手前に引き抜きます。
3. バッテリーを充電器にスライドさせて充電を開始します。
 - 充電中＝充電器の赤いLEDが点灯します(赤色点灯中はバッテリーが充電されていることを示します)
 - 充電完了＝充電器の赤いLEDが(消灯)→緑のLEDが(点灯)します。

※空のバッテリーを完全に充電するには、約2時間かかります。

※充電中、バッテリーがわずかに温まるのは正常です。

▼バッテリー容量確認方法

バッテリーの背面にある電源表示ボタン()を押すと、バッテリー残量状態を確認できます。

「バッテリー残量」

- 3つのライト(赤/黄/緑)が点灯 → バッテリーは満充電状態です
- 2つのライト(黄/赤)が点灯 → バッテリー残量は十分にあります
- 1つのライト(赤)が点灯 → バッテリー残量が空です(充電してください)

4.トラブルシューティング

| 症 状 | 方 法 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">● 本機が停止する● 始動しない | <ul style="list-style-type: none">✓ 引金（トリガー）を離し、再度引金（トリガー）を引いてみる。✓ バッテリーを充電する。✓ 本機を十分に冷ましてから再始動する。 |

※症状が改善しない場合は販売店へご相談ください

5.メンテナンス

▼本機のお手入れ

- ・ ご使用後は、乾いた布できれいに拭いてください。
- ・ 水洗いは絶対にしないでください。（本機内部に水が入り、故障の原因になります）
- ・ ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコール等は 変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

▼修理の際は

- ・ 修理はご自身ではせずにお買い上げ販売店へお問い合わせください。